

## 私立大学図書館協会西地区部会 2009年度第2回阪神地区協議会定期総会議事要録

日時：2010年2月25日（木）14：40～16：00

会場：関西外国語大学 中宮キャンパス 本館・多目的ルーム

出欠：出席校…44校（52名）

\*出席者名簿では46校でしたが、2.追手門学院大学附属図書館、13.大阪成蹊大学・短期大学図書館が当日欠席

欠席校…25校（内、委任状提出校25校）

### 配布資料

1. 私立大学図書館協会西地区部会2009年度第2回阪神地区協議会定期総会資料
2. 私立大学図書館協会西地区部会2009年度第2回阪神地区協議会定期総会出席者名簿

### 議 事

議長選出まで、今年度理事校である関西外国語大学図書館学術情報センター課長補佐藤津滋生氏が議事を進め、冒頭関西外国語大学図書館学術情報センター事務部長丸山茂樹氏がセンター所長眞鍋昌弘氏の挨拶を代読した。

#### I. 議長選出

阪神地区協議会議長校当番順位（定期総会議長校ローテーション表）に基づき、神戸芸術工科大学図書館サブ・マネジャー宮本直子氏を議長に選出した。

#### II. 報告事項

報告事項に先立ち、議長から、本日の出席校数及び委任状提出数が報告され、定期総会が成立している旨宣言された。

##### 1. 阪神地区協議会報告

理事校（関西外国語大学・藤津氏ー以下同じー）から総会資料に沿って、次の項目1）2）5）について、研究会正幹事校（神戸山手大学 早川氏）から項目3）について、相互利用運営幹事校（神戸国際大学 筆保氏）から項目4）について報告があり、これを了承した。

##### 1) 阪神地区協議会会務報告

加盟校数（2010年2月25日現在）：69校

加盟館名称変更

〔旧名称〕宝塚造形芸術大学図書館

〔新名称〕宝塚大学図書館（2010年4月1日より）

- 2) 阪神地区協議会運営委員会報告
- 3) 阪神地区研究会報告
- 4) 阪神地区相互利用運営幹事校報告
- 5) 書誌学研究会報告

## 2. 西地区部会会務報告

理事校から総会資料に沿って、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- (1) 西地区部会加盟校 (2009年8月27日現在)
- (2) 役員校・当番校ならびに研究会幹事校
- (3) 2009年度西地区部会総会
- (4) 2009年度西地区部会研究会
- (5) 2009年度西地区部会役員会

## 3. 協会関係事項報告

理事校から総会資料に沿って、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- (1) 協会加盟校  
[2009年度常任幹事会]  
[2009年度東西合同役員会]  
[第70回(2009年度)私立大学図書館協会総会・研究大会]  
[2009年度国際図書館協力委員会]  
[2009年度協会ホームページ委員会]

## 4. 協会関連事項報告

理事校から総会資料に沿って、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- [国公立大学図書館協力委員会]  
[国会図書館長と大学図書館長との懇談会について]  
[情報保存研究会・日本図書館協会共催シンポジウムの後援について]  
[日本図書館協会関係]  
[大学図書館近畿イニシアティブ]

## III. 協議事項

### 1. 2010年度以降の阪神地区協議会役員校輪番制について

理事校から総会資料に基づき、「役員校ローテーション関係資料に関する申し合せ」として審議は終了しており、入学定員により「会長」「部会長」「理事校」「幹事校」として役割を担当する旨を説明。審議の結果、これを承認した。

### 2. 大学図書館近畿イニシアティブ運営委員館、能力開発専門委員会委員及び広報・

#### WEB 専門委員の選出について

理事校から総会資料に沿って、運営委員館、能力開発専門委員会委員、広報・WEB 専門委員について説明があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

#### 3. その他

特になかった。

#### IV. 承合事項

事前にも当日にも提案はなかった。

#### V. 確認事項

##### 1. 2010 年度第 1 回阪神地区協議会定期総会の議長校について

理事校から総会資料（定期総会議長校ローテーション表）に基づき、次回阪神地区協議会定期総会の議長は神戸夙川学院大学である旨の報告があり、これを確認した。

##### 2. 2010 年度以降の阪神地区協議会等の役員・当番校について

理事校から総会資料に基づき、2010 年度以降の役員・当番校について報告があり、これを確認した。

#### VI. その他

理事校から、第一回定期総会の「懇談事項」で挙げた 5 項目について運営委員会で審議した結果の報告があった。

##### 1. 近畿イニシアティブの運営委員および専門委員の輪番制について

「役員校ローテーション関係資料に関する申し合せ」では、「阪神地区協議会運営委員会でその扱いを定める。」となっているが、知り合い等に頼んでいる現状に鑑み、何らかのルール作りが必要になっている。

##### 2. 阪神地区協議会運営委員の拡大について

拡大しない、現状のままとする。

##### 3. 相互利用運営幹事校に副幹事校を新設しては

任期が切れる年度から、次の幹事校に参加してもらうルールが確立しているので、現状のままとする。

##### 4. 相互利用担当者連絡会を年 2 回行っているが、それを 1 回にして、新たに「事務連絡会」のようなものを新設しては

いい考えも浮かばず、現状のままとする。

##### 5. 輪番制の基礎資料の「入学定員数」を「収容定員」にしてはどうか

「入学定員数」に決まったところなので、しばらく現状のままとする。

次に、理事校から「役員校輪番制確定基礎資料」の調査年にあっている旨の説明があり、調査協力の要請があった。

最後に、本年度をもって任期の終了する研究会正幹事校（神戸山手大学 早川氏）、相互利用運営幹事校（神戸国際大学 筆保氏）の紹介、次期研究会副幹事校（大阪女学院大学）、相互利用運営幹事校（関西国際大学）の紹介があり、引き続き挨拶があった。

以上をもって議事を終了し、関西外国語大学図書館学術情報センター事務部長丸山茂樹から閉会の挨拶があった。

以 上